

新型コロナにかかり、3日で回復したケース

森井昭子

男性 48歳

【主訴】

発熱、悪心、吐き気、全身の倦怠感、食欲不振（インフルエンザ様の症状）

【具体的内容】

体がとてもだるく気分も悪く熱っぽいので、熱を計ると38度5分あった。食欲は全く無く、激しい倦怠感があり起き上がれない。吐き気も強く、四六時中船酔いしている様な気分。会社の同僚が新型コロナ陽性になったので自分もコロナに感染したかもしれないとの事。

【レメディー選択】

① 初日～2日目

Acon30C、Rhus-t30C、Bry30C、Gels30C、Bell30C、Ferr-p.12X、Ip30C、TS34
以上を水ポーションにして1日かけて飲ませる。

② 3日目～4日目

Oscill、RXinful、TS34 以上を水ポーションにして1日かけて飲ませる。

【選択の根拠】

Acon.・・・マテリアメディカの中で「かぜのひき始め、熱の出始め」という特徴から選択。

Rhus-t. Bry. Gels.・・・予防のレメディーの講義でインフルエンザのレメディーと紹介されていたので、症状からインフルエンザの可能性を考慮して選択。

Bell.・・・マテリアメディカの中で「高熱のNO1レメディー」という特徴から選択。

Ferr-p.・・・マテリアメディカの中で「初期の炎症のNO1レメディー」という特徴から選択。

Ip.・・・マテリアメディカの中で「強烈な吐き気と嘔吐」という特徴から選択。

TS34・・・予防のレメディーの講義でインフルエンザの時の生命組織塩コンビとして紹介されていたので選択。

Oscill.・・・予防のレメディーの講義で、インフルエンザにかかった時にinful.と併せて摂ると良いと紹介されていたので選択。

RX inful…予防のレメディーの講義で結核マヤズムが入っているインフルエンザのレメディーと紹介されていて、この男性は風邪を引くと咳が残る傾向にあるので選択。

【経過】

初日～2日目は倦怠感と吐き気と嘔吐で起き上がる事が出来ず食欲も無いままだったが熱は測る度に少しづつ下がっていった。水分と塩分はこまめに摂る。(レメディー入りのペットボトルに天日塩を入れて飲んだ)

3日目には熱は37度代に下がり、吐き気と嘔吐は無くなった。食欲も回復してきて、おかゆと果物を食べる事ができた。

この日から予防のレメディーの講義で習ったレメディーのインフルエンザのレメディー（【レメディー選択②】）を全面的に取り入れてみたら、その日の夕方くらいから急速に元気が出てきて起き上がれる様になった。

4日目はほぼ完治に近く、食欲も普段に近づき、他の事も日常生活に近い状態で過ごせる様になった。

発熱した事を会社に報告する必要がある為、コロナの検査をしたら陽性だった。会社でコロナにかかった人達はみんな回復まで1週間はかかり、復帰した後もしんどそうだという事らしく、本人は約3日で元気に回復できた事を喜んでいた。

【考察】

基本キットのレメディーだけでなく、ファミリーホメオパスコースで学んだYOBOキットのレメディーも使った事でより早く症状を出し切り、回復できたのかもしれない。